


# 葛城中学校だより

令和 5年 3月 24日(金)  
岸和田市立葛城中学校  
岸和田市土生213-1  
電 話 072-427-4507  
F A X 072-428-4494

野にも	山に	どこに	春が
来た	来た	来た	来た
来た	里に	来た	春が
来た	来た	来た	来た
曲 詞			
岡 高			
野 野			
貞 辰			
一 之			



『春が来た』この歌を聴くと春の気配がそこかしこに漂ってきそうです。平年より10日も早く桜の開花宣言が出た東京。大阪でも3月19日に開花宣言が出されました。これも平年より8日も早く出されました。満開日が、3月中に訪れるようなので、入学式に桜の花は見られるのかと心配しています。三寒四温。寒さと温かさを繰り返しつつ徐々に春に近づきました。3月には珍しく夏日になった地域もあったそうです。日本人が待ち焦がれる春の到来ですね。

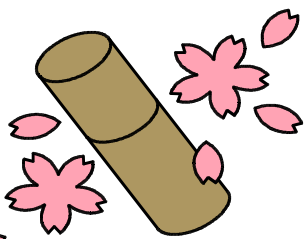
今年8月にバスケットボール、9月にラグビーのワールドカップが開催されますが、一足早く開催された、野球のWBC(ワールドベースボールクラシック)で侍ジャパンが見事優勝を果たし世界一になりました。幸先の良いスタートになりました。

## 第76回卒業証書授与式で66名の卒業生が巣立っていきました

3月14日、卒業生を祝福するかなのような穏やかな春の日差しがふりそそぐ中、午前9時30分より、第76回卒業証書授与式を行いました。コロナウイルス感染予防対策のため保護者の皆様にはマスクの着用をお願いしましたが、入学式からマスクを着用していた、卒業生たちは、中学校生活で初めてマスクを着用しないで、学校行事、卒業証書授与式に臨みました。

保護者の皆様や在校生の代表や教職員の見つめる中、卒業生が壇上で卒業証書を手にしました。

『卒業生の言葉』では、コロナ禍での3年間の学校生活、部活動や行事を通じて切磋琢磨したことや協力して成し遂げた数々の思い出を語ってくれました。また、最後に三年生の先生方への思いや保護者の方々に対する感謝の気持ちを伝えてくれました。卒業生の歌『正解』『遙か』の時には感極まり涙を流している人もいましたが、最後まで見事で、歌声も心に響きました。とても感動的でした。心温まるとても良い卒業式でした。



## あらためて、66名の皆さん卒業おめでとうございます。

これから新たなスタートを切る卒業生の皆さん、どうか自分の可能性を信じて、何事にも挑戦してください。

自分で限界を決めるのではなく夢や目標の実現をめざして努力を惜しまないでください。

『生きるとは限りなき挑戦です』



## ◎修了式にあたって

「修了」の意味を辞書には「決められた学業の課程を学びおえること。」と書いています。「その学年に相応しい生徒としての学力と心と体力を身につけました。」という意味があると言えわかりやすいですか？

修了式は学校の大きな節目の日です。今日もらう通知表の先生方からの評価を素直に受け取り、この一年を振り返ってみて自分の『成果と課題』を考えてみてください。こういう節目節目に心を新たにすることが、その人の成長する伸び方が違ってきます。

一年間を通して、『成長した自分』を感じていますか？

1年生は、中学校の学習の仕方や成績のつけ方に戸惑った人もいたかもしれませんが、部活動や行事などを通して、次第に小学生の雰囲気も消え去り中学生らしくなった人が多くなりました。「まだ子どもやもん」と言っている人はいませんか？

2年生は最上級生になる心構えができてきているように感じます。

身長や体重も一回りも二回りも大きくなり、大きく成長してくれています。それに伴って心も強く、豊かになったのではないのでしょうか。時には頼もしく、「大人」へと一歩近づいたようにも思えます。この成長を大きな自信にし来年度への新たなエネルギーに変えてください。

中学校の3年間は、いつも言うように「大人になる」ための学習の場です。春休みは、一年間が終わったという達成感や安堵感が漂いますが、目の前にはもう令和5年度が待っています。それぞれ、2年生、3年生と階段を一段上がった心構えをもって4月の始業式を迎えてください。

保護者の皆様、私たち至らぬところもございましたが、今年度も葛城中学校の教育活動にご理解、ご支援いただきありがとうございました。

来年度も私たち教職員は生徒たちの成長を振り返り長所を伸ばし一人ひとりの課題を明らかにして、その改善や支援に向けて丁寧に指導にあたりたいと思っております。変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

